

# スケート大会閉幕

「スキ国体へ最高のバトンだ」。盛岡、花巻、二戸3市で日間にわたる熱戦を終えたスケート国体。県

勢は連日の入賞ラッシュで、スケートアイスホッケーを合わせた全種（男女総合）成績で10月5日（競技場）点105点、参加20点の8位と大躍進。地元の声援を力に変えた選手たちは「チーム若手が1丸となり、いい形で次につなげた」と喜び、八幡平市で20日開幕する「スキ国体へ岩手旋風を期待した」。

【本記一面】

## スキー県勢に刺激

### 引退するスケート池田選手

の中、ひたむきな努力の首役。女選手へ、手、スタッフが八幡市、出場予定の水井健弘選手で進化を遂げた選手たち。その姿は、震災5年を迎える復興の歩みにも重なる。国体強化委員の八木浩之、事務局長は「3桁の競技得点はスキ国体へいい強み。最高の結果と、力をねがった」。

### 有終舞台悔いなし

「最高の舞台を用意してもらった。もう悔いがない。31日の県営アリーナ。今大会を最後引退を決めた。池田晋一選手は最終レースの引退セレモニーで、多くの観客の応援をもらって涙を流した。池田選手は引退後、200目まで表彰台、達成感いっぱい、16年の県事に有終の美を飾った。一線を退くが「競技をやめる人の手助けができてよかった」とスケートに感謝した。八戸市で、男は開くつもりだ。男は盛岡市都南総合子短距離の強豪・日大支所職員としての。本を離れる。卒業後は競技業で地域に貢献したい。『職場の方々にはわがために感謝して、これからも応援してくれるように頑張りたい』と語り、この時期もあつたが、な表情で決意を語った。周囲のサポートを受けた。

## 地元の声援 躍進後押し

盛岡市みたび3丁目 県営武道館で31日行われた表彰式で天皇杯順位がアンラッシュされると、本県選手団からとどめと大きな拍手が起こった。東日本大震災発生時は開催さえ危ぶまれた地元国体。新天地を若手に求めた有力選手が加わり、高校生ら若手も発奮。選手達の底上げが好成績をもたらした。

切実な思いで練習環境も少なくない練習環境。た、と感謝。成年女子

「最高の舞台を用意してもらった。もう悔いがない。31日の県営アリーナ。今大会を最後引退を決めた。池田晋一選手は最終レースの引退セレモニーで、多くの観客の応援をもらって涙を流した。池田選手は引退後、200目まで表彰台、達成感いっぱい、16年の県事に有終の美を飾った。一線を退くが「競技をやめる人の手助けができてよかった」とスケートに感謝した。八戸市で、男は開くつもりだ。男は盛岡市都南総合子短距離の強豪・日大支所職員としての。本を離れる。卒業後は競技業で地域に貢献したい。『職場の方々にはわがために感謝して、これからも応援してくれるように頑張りたい』と語り、この時期もあつたが、な表情で決意を語った。周囲のサポートを受けた。

# 好成績 最高のバトン



表彰式後、他県選手団にリンドウの花束を手渡しして見送る本県選手。躍進の大会を裏やかに締めくくった。31日、盛岡市・県営武道館



花束を手にチームメイトと握手を交わす池田晋一朗選手。今国体を最後に引退した=31日、盛岡市・県営スケート場